

ぐんぐん↑↑

R5.1 2.8

第 6 号



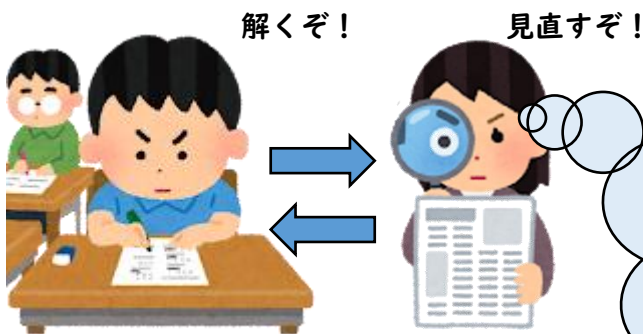
↑本校 HP



寒冷の候、ますますご盛栄のことと思います。保護者の皆様には本校の教育活動や家庭での学習活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。早いもので2学期もあと2週間とわずかです。良いまとめの時期にしたいです。

◇◇「見直し上手は、勉強上手！」◇◇

※例えば、算数の問題で考えてみると…



数を正しく書いている
いくつ答えを選ぶのか 公式はあっているか
数字の書き間違いはないか 約分・通分
小数点 位をそろえる 正しい単位
繰り上がりと繰り下がり 0の処理・場所
順序正しい式 丁寧に名前 目盛り
計算間違い 問題の解き忘れ(空欄はないか)
答え方(～から、記号で、番号で)…

→これぐらい思いつきますね!

テストをしている時、家で宿題をしている時、学校でプリント学習をしている時…、子ども達はしっかりと「見直し」をしているのでしょうか。

自分自身では解き終わったら全部解けていると思い込んでしまうので、ついつい油断してしまいます。大切なのは意識を切り替えることです。解き終わった後に一度気持ちをリセットして、もう一度0(ゼロ)から問題を解き直すような気持ちで見直しをするとうまくいきます。例えば、算数の問題を解いた時には、上記したようなことが見直しのポイントとして考えられます。もしかすると、内容によっては「**長さは正しいか**」とか「**図形は正確に描くことができているか**」なども考えられます。

国語ではどうでしょう。「**習った漢字・カタカナ・「、」や「。」は使っているか**」、「**送り仮名は正確か**」、「**正しい・合っている漢字か**」、「**っ(促音)・ー(長音)・ゃゅょ(拗音)の使い方**」、「**理由の書き方(～から、ので)**」、「**正しい接続語の使い方**」、「**問われていることに正しく答えているか**」…など、こちらも問題によって様々で無限にありそうです。国語ならではの見直しのコツとして「**一度書いた文章を読み直す**」といいです。長い文章の時も短い文章の時も、必ず自分の書いた文を読み直すクセをつけるようにします。その時はできれば声に出して読むと間違った言葉遣いや言い回しに気付くことができます(音読ともつながります)。このように、テストや問題は1回最後まで解いたら「はい終わり!」というわけではなく、その後の**見直しをしっかりとやりきる**ことが大切です。

もちろん、これら以外の教科の学習でも見直しは大切です。見直しの仕方が上手になると、間違いが減り、内容も正確に理解し、表現できるようになっていきます。ぜひ、低学年のうちから見直し上手になってほしいです。「**見直し上手は勉強上手だ**」を合言葉にして、学校でもご家庭でも一緒になって、丁寧な見直しができる子ども達を育てていきましょう。



◆◆特集！音読について改めて知り、考え、取り組んでみよう◆◆

音読の宿題には取り組むことができますか？子ども達はちゃんと声に出して、しっかりと読んでいるでしょうか。ついつい毎日あることに慣れ、役目済ましで雑になっていたり、「読んだよ」という返答だけになっていたりはありませんか？保護者の皆様には、お忙しい中で、毎日子ども達が音読する様子を見て、聞いていただいていることと思います。いつもご協力ありがとうございます。毎日のように行う音読の宿題ですが、実は音読は学力向上のために必要な勉強法だとご存じでしょうか。今回は、音読について改めて一緒に考えていきたいと思います。

音読、すなわち「文章を声に出して読む」ことは、黙読では理解できなかった文章の理解を助けてくれます。例えば、大人でも取扱説明書や契約書など難しい内容の時、声に出して読んでみると頭が整理されて内容が理解できたという経験、実感があるのではないのでしょうか。これは音読をすることで脳の前頭前野が活性化されるからです。これにより、記憶力や判断力を高める効果があると言われています。さらには前頭前野が活性化されることでセロトニンというものが分泌されます。そのため興奮をおさえ、集中力を発揮する効果も得られると言われています。



それでは、次は音読で得られる7つの効果について紹介していきます。

<p>①：記憶力が向上！</p> <p>音読をすることで、脳が活性化されることが多くの研究で明らかになっています。脳の記憶や思考、判断などを司る部分が活性化し、記憶力が向上するとされています。音読を勉強の初めに取り入れるとより効果的。</p>	<p>②：語彙力・読解力が向上！</p> <p>音読をすることで、語彙力や読解力も向上します。なぜなら、声に出して読むには、漢字の読み方や単語の意味、文の流れや文章の切れ目を考えながら読むが必要になるからです。</p> <p>また、音読をするということは、文章を目で追い、声に出し、自分の耳で聞くということ。これにより視覚と聴覚の両方が刺激され、文章理解も進みます。まさに「一石二鳥」ですね。この積み重ねで、確かな読解力が積み上がります。</p>
<p>③：黙読が速くなる！</p> <p>音読は、最初はつかえながらも、徐々にすらすら読めるようになるものです。それは、日本語のリズムに慣れ、語彙や文章構造、論展開を理解する力が伸びるからです。そうして身につけた力は、黙読にも効果を発揮し、内容をしっかり押さえつつ読むスピードが速くなります。</p>	<p>④：学習意欲が高まる！</p> <p>音読には、勉強へのモチベーション（学習意欲）を高める効果もあります。「なんか勉強したくないな・・・」と気分が乗らない時には、とりあえず音読をとっかかりにするのがおすすめです。「作業興奮」と呼ばれる作用で、初めは気乗りしなくてもだんだんとやる気が出てきます。</p>
<p>⑤：気持ちが落ち着き、ストレス軽減！</p> <p>音読で脳が刺激されるとセロトニンという物質が分泌されます。セロトニンは興奮や攻撃を助長するアドレナリンを抑え、気持ちを落ち着かせる作用があるものです。音読により、ストレスを軽減して、リラックスした状態に整えることができます。</p>	<p>⑥：コミュニケーション力の向上</p> <p>音読により活性化される脳前頭前野は、コミュニケーション能力も司っています。また、音読をすることで、発声や発語に慣れて滑舌が良くなったり、声を出すことへの苦手意識も軽減されたりします。このことは普段のコミュニケーションにも効果が発揮されます。</p>
	<p>⑦：自制心が育つ</p> <p>脳の前頭前野は、感情をコントロールする役割も司っています。そのため、音読をすることは、気持ちを落ち着かせ、感情を制御することにも役立ちます。その積み重ねで、自制心が育ち自分で自分をコントロールしやすくなり、感情に流されなくなっていくと思います。</p>



音読の良さ7

